

➔ ユダヤの新年 (ロシュハシャナー)

イスラエルでは9月22日の日没、ユダヤの新年を迎えた。今年はユダヤ暦5786年となる。この日から「畏れの日」(神様の前で心を正す特別な期間)と呼ばれる10日間が始まり、ユダヤの民が自分たちの心を神様の前で省みます。これらの日々はヨム・キプール(大贖罪日)へと続きます。

➔ ヨムキプール(大贖罪日) 10月2日

ヨム・キプールはユダヤの一年の中で最も聖なる日である。古代イスラエルでは、ヨム・キプールは全 国民の贖いが行われた日でした。(レビ16章)。この日、大祭司が犠牲の血を持って至聖所に入り、人々の罪の贖いを行いました。彼は契約の箱に血を振りかけました。又祭司は贖罪の山羊(スケープゴート)の頭に手を置きました。それは人々の罪を持ち去る象徴でした。。この日は断食を定めた日であり、イスラエル全体として、罪の悔い改めのため、「自らを苦しめ」る日です。

➔ クリスチャン(ユダヤ人クリスチャン)にとってのヨムキプール

- ① ヨムキプールは祭司や犠牲の聖書的意義が、イエシュアによって成就したことを祝う中心的な祝祭

ヘブル7:27 ほかの大祭司たちとは違い、キリストには、まず自分の罪のために、その次に、民の罪のために毎日いけにえをささげる必要はありません。というのは、**キリストは自分自身をささげ、ただ一度でこのことを成し遂げられたからです**。28 律法は弱さを持つ人間を大祭司に立てますが、律法のあとから来た誓いのみことばは、永遠に全うされた御子を立てるのです。

- ②この日は祈りと断食、そして我々の民のためのとりなしの日。

- ③ この日は自己検分と、我々の人生において、罪から立ち帰る日。

Iヨハネ1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。10 もし、罪を犯してはいないと言うなら、私たちは神を偽り者とするのです。神のみことばは私たちのうちにありません。

哀歌3:40 私たちの道を尋ね調べて、主のみもとに立ち返ろう。

:41 私たちの手をも心をも天におられる神に向けて上げよう。

- ➔ イエス様の贖いを感謝しましょう。十字架で私達の全ての罪を贖って下さった。イエス様の犠牲を感謝しましょう。
- ➔ ユダヤ人の救いの為にお祈りしましょう。イエス様を救い主と知らないでいます。イエス様はユダヤ人の為にも十字架にかかってくださいました。真の救いの為にとりなしして祈って行きましょう。

➔ 世界中で起こっているリバイバル（信仰復興）

1. チャーリーカーク氏の死

アメリカの大学のキャンパスで若者に聖書の真理を語り続けて、殉死した。

彼は間違った教えがはびこっている世の中、若者たちにキリストの真理を語り自由を与え、戦い続けた。

彼の死後、人々は「私たちはチャーリー」というスローガンを掲げて行進を行った。

2. 「私達はチャーリー」

イザヤ 6:8 私は、「だれを遣わそう。だれが、われわれのために行くだろう。」と言っておられる主の声を聞いたので、言った。「ここに、私がおります。私を遣わしてください。」

ヨハ 8:32 そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

チャーリー氏の生前のメッセージを受けて人々は、チャーリーに続こうと決心している。イザヤが聖なる神様に会い、遣わされた時のように「ここに私がおります。私を遣わしてください」と彼が主の召しを受けて従ったように、今世界中の人々が主の為に、大胆に真理の福音を伝える為に人々が立ち上がっている。苦しみと混乱の中にいる人々に福音を伝えようと立ち上がっている。

3 世界的なリバイバルが起こっている。

クリスチャンが立ち上がり、福音を大胆に語るようになっている。

バックスライダーが、悔い改めて教会に戻ってきている。

4. 神様が行っている御業を知りましょう。

神様は、ビリーグラハム師を用いて世界中の人々に福音を伝え救われました。

神様は、ベニーヒン師を用いて、世界中の人々に神様の癒しを行われました。

神様は、チャーリーカーク氏の死を用いて世界中にリバイバルを起こされています。

この世の終わりの時、神様は、私達一人一人を用いて、リバイバルを起こされます。

➔ 私達は今、何をすべきでしょうか。

1) 主の前に静まって、主に立ち返りましょう。

主との関係を正しく持っているでしょうか。

霊的な主との交わりを持っているでしょうか。日々の祈り。聖書の黙想の時。

主の召しに従って歩んでいるでしょうか。

2) 主は私達に語っておられます。「私は誰を遣わそう。誰がわれわれの為にいくだろう。」

主に応答しましょう。イザヤのように。「ここに私がいます。私を遣わしてください」

3) 未信者の家族、隣人の為、国の為にとりなしをして祈りましょう。

神様を知らないで苦しんでいる人々に福音を語りましょう。

日本にリバイバルが起こりますように、熱心に祈って行きましょう。